



東北大学

報道機関各位

2012年 11月 16日
東北大学大学院生命科学研究科
生態適応グローバル COE

東北大学生態適応 GCOE コンソーシアム・生物多様性オフセット国際シンポジウム

「開発と生物多様性保全の在り方を考える
～生物多様性オフセット導入の課題～」
開催のご案内

<概要>

東北大学生態適応グローバルCOE（生態適応GCOE）では、産官学NGO・市民のそれぞれのセクターが集い、情報共有をはかり、人材交流・育成、共同研究の機会を提供することを目的として、環境機関コンソーシアムを組織し、生態適応力を活かした生態系保全・管理に関する研究を行ってまいりました。

コンソーシアムでは、2010年に開催した「生物多様性オフセット国際シンポジウム」を契機として、「生物多様性オフセット研究会」を発足させ、企業とNGOとの国際共同作業で進められている「ビジネスと生物多様性オフセットプログラム(BBOP)」の研究ならびにBBOPガイドラインをベースとしたオフセット仮想実証実験の研究を行ってまいりました。

今回はその中間報告をかねて、生物多様性保全のため、日本におけるオフセット制度導入の課題整理を目的として、国際シンポジウムを下記のとおり開催いたします。基調講演には BBOP 理事の Kerry ten Kate 氏（ビデオ講演）、ならびに全米最大のミティゲーション/コンサベーション・バンク企業 Wildlands 社（カリフォルニア州）取締役の Wayne White 氏をお招きし、海外の動向ならびに生物多様性バンキングビジネスの現状をご紹介いただきます。それをふまえて日本の開発と生物多様性保全の在り方に関する今後の課題についてパネル討論を行います。

つきましては、広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

主 催： 東北大学生態適応 GCOE・環境機関コンソーシアム
日 時： 2012年11月19日(月) 13時30分～18時00分
場 所： ロイヤルパーク汐留タワー（東京都港区東新橋1-6-3）
参加費： 無料
参加申込： 下記 Web より参加申込してください。（定員130名先着順）
<http://gema.biology.tohoku.ac.jp/offset2012/>

<プログラム>

- ◆開会挨拶 東北大学大学院生命科学研究科教授・GCOE拠点リーダー 中静透

- ◆来賓挨拶 環境省自然環境局生物多様性地球戦略企画室企画室長 奥田直久氏

- ◆基調講演 1 「BBOP(Business and Biodiversity Offsets Program)の方向性と今後の課題」 (ビデオ講演)
Director of BBOP Ms. Kerry ten Kate

- ◆GCOE成果発表 1 「BBOPスタンダードの特徴とその背景」
株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役/
BBOPアドバイザーグループメンバー 足立直樹氏

- ◆GCOE成果発表 2 「生物多様性オフセット実証実験中間報告」
いであ株式会社研究員 幸福智氏

- ◆問題提起 「開発事業に伴う自然消失に対するミティゲーション・ヒエラルキーと代償ミティゲーション：日本の課題と展望」
東京都市大学教授 田中章氏

- ◆基調講演 2 「米国におけるミティゲーション/コンサーベーション・バンクのビジネスモデル」
Wildlands社Director of Business Development Mr. Wayne White

- ◆パネルディスカッション
モデレータ： 田中章氏 (東京都市大学)
パネリスト： 足立直樹氏 (株式会社レスポンスアビリティ)
伴武彦氏 (株式会社ポリテック・エイディディ)
Mr. Wayne White (Wildlands社)
Dr. Sangdon Lee (Ewha Womans University)
中静透 (東北大学)

- ◆閉会挨拶 株式会社ポリテック・エイディディ専務取締役/
一般社団法人日本環境アセスメント協会会長 梶谷修氏

- ◆レセプション (参加費 2,000 円/学生 1,000 円)

(お問い合わせ・取材等のお申し込み先)

東北大学大学院生命科学研究科 生態適応グローバル COE

TEL: 022-795-3637

e-mail: eco-gcoe@bureau.tohoku.ac.jp